

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

平成 30 年 3 月発行 97-2

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

「歴史に埋もれた伝統」でお手玉

朝日放送「ルーツをさがせ！に登場



大坂・朝日放送は、2月15日放送の「ナイトインナイト」木曜日『ビーバップ!ハイヒール』に、お手玉のルーツを取り上げました。(写真左)

番組の内容は、「日本の伝統に埋もれた真実～思い込みのウラに意外な歴史あり！～」のタイトルです。すめられ、初詣の起源や変化、万歳や正座のルーツなどが、興味深く解説されました。

司会はハイヒール（リンゴとモモコ）、出演は、漫画家・江川達也、作家・筒井康隆のみなさんと、放送作家・藤井青銅さんがゲストとして参加していました。ほかに、チュートリアル（徳井・福田）などの出演もありました。

送作家・藤井青銅さんがゲストとして参加していました。ほかに、チュートリアル（徳井・福田）などの出演もありました。

海外生まれの日本育ちクイズ！

この番組の中の「海外生まれ、日本育ちクイズ！ルーツを探せ」のコーナーで、左の写真が映し出され、「これは何をしているところでしょうか？」と、出演者に問いかけました。

この写真は、朝日放送からの依頼で、日本のお手玉の会から提供したものです。

日本のお手玉の会のホームページに、「お手玉の歴史」を紹介したコーナーがありますが、そこ



に、藤本浩之輔元京都大学教授（日本のお手玉の会元顧問）が撮影した、トルコのアナトリア文明博物館が所蔵するネオヒッタイト時代の羊の骨のお手玉で遊ぶ石のレリーの写真を掲載しています。(写真上)

お手玉には4,000年の歴史がある

この写真を見て、出演者は、「団子を作っているところ」「アメちゃん交換でしょう」などと答えていましたが、チュートリアルの徳井さんが、「お手玉でしょう」と答えました。

藤井青銅さんは、「そのとおり、お手玉をしている様子です。お手玉の発祥は、定かではありませんが、4,000年前の古代エジプト文明の時代といわれていて、羊のかかとの骨で遊ばれていたそうです。日本には奈良時代に入ってきて、水晶や石で遊んでいたといわれています」と解説していました。この歴史に、出演者は驚いていました。

日本では、江戸時代の半ばになって、布に包んだ現在のお手玉が誕生しました。遊び方は世界共通ですが、布に包んだお手玉は日本独特で、世界に誇る遊び道具といえます。(編集部)

日常の？を解消する。

